




組織のモヤモヤ、その正体を解き明かす

部門ごとに異なるモヤモヤを抱える製薬企業。その根本原因と解決策をご紹介します。スクロールして、あなたの組織の「説明できない不安」の正体を知りましょう。



各部門で渦巻くモヤモヤの正体

製薬企業の各部門は、それぞれ異なる形で「モヤモヤ」を抱えています。しかし、その根底には共通する「説明できない不安」があります。この不安は、組織全体の明確な戦略と方針の欠如から生まれています。

MRのモヤモヤ

活動内容に"意味と根拠"が持てない。自分の行動に対する自信が持てず、成果に再現性がないことに不安を感じている。

マネージャーのモヤモヤ

戦略的なリソース配分や支援ができない。マネジメントの納得感が薄く、指導に対する自信の欠如を感じている。

本社部門のモヤモヤ

現場と"同じ地図"で戦略を描けない。企画の説得力に自信が持てず、現場との距離感に焦燥を感じている。



現場の声：MRと管理職の葛藤



MRの本音

「上司の指示通りにちゃんと頑張っているのに、手応えがない」「上司から『なぜその活動が必要なの？』と聞かれると、自分でもはっきり説明できない」



所長・マネージャーの本音

「この判断で正しいのか？と、常にどこかに迷いが残る」「感覚で指示を出しているのでは？と自分でも思ってしまう」

本社部門が抱える深い溝



マーケティング・本社企画

「現場の反応が薄いとき、どこかで"自分たちの戦略はズレているのかもしれない"と感じる」「データをもとに根拠を示しているのに、現場には『机上の空論』と言われてしまう」



教育・研修部門

「"考える営業人材"を育てる実効性が持てない」「受講者から"現実とは違いますよね"と言われたときに言い返せない」



デジタル部門

「"成果につながるDX"を推進できない」「ツールを入れたのに、『で？』という空気になるのがつらい」

これらの部門は、現場との連携不足や戦略の不一致により、自分たちの取り組みが実際の成果に結びついていないという虚無感を抱えています。



経営層も抱える戦略的迷い

経営者・事業責任者も例外ではありません。彼らは「勝てる戦い方」が見えない、示せないことに悩んでいます。

「人も金も時間も限られている中で、今のリソース配分が本当に最適なのか不安になる」

「何かを切る、絞るといった意思決定をするたびに、'それでよかったのか'という重みが残る」

号令や旗振りでしか存在感を示せず、組織力を最大化できていないという焦りが、経営層のモヤモヤの根源となっています。

部分最適は問題を隠すだけ

各部門は自分たちの立場とミッションの中で、問題解決を試みますが、これらはあくまで部分最適でしかありません。



営業の対応

とにかく行動量を増やす



マネージャーの対応

数字管理を徹底する



マーケティングの対応

施策を追加する



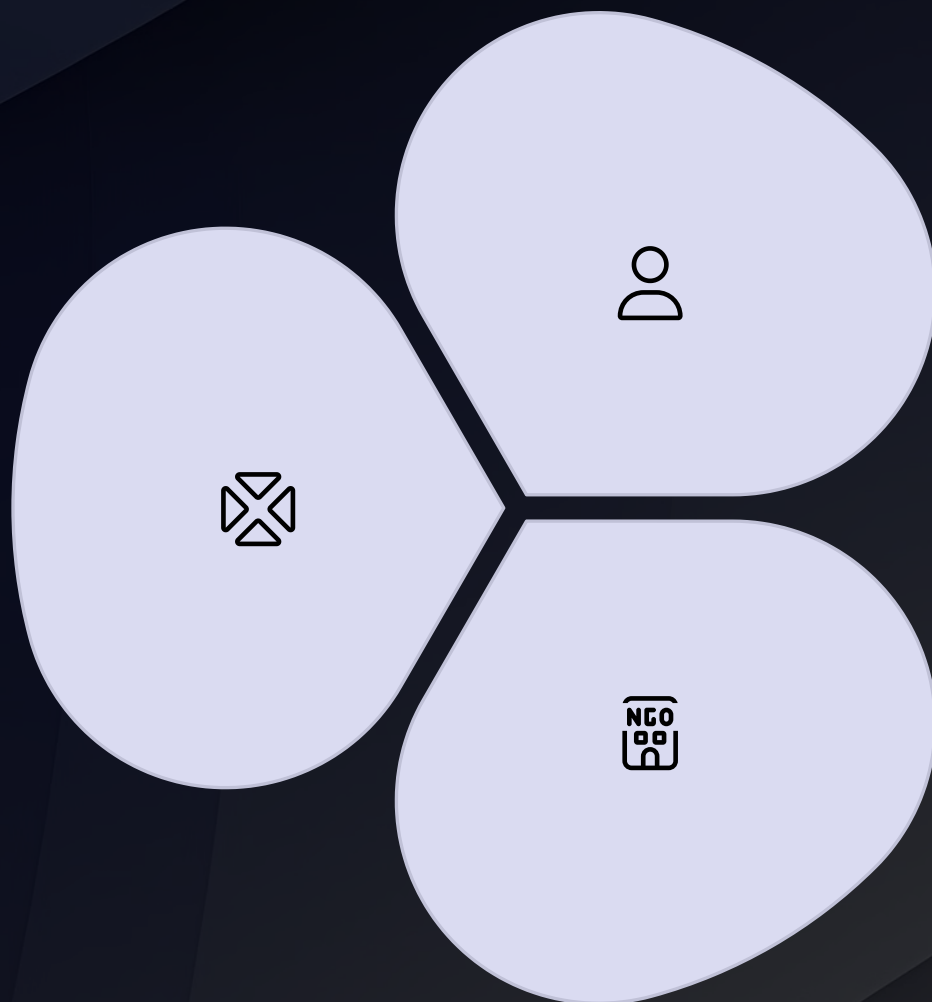
デジタル部門の対応

次々と新ツールを導入する

一見、前向きな対応のように見えますが、根本的な問題の構造そのものは変わらず、むしろ部門間のズレと温度差が広がり、モヤモヤが増幅するケースも少なくありません。

モヤモヤの本質：組織全体の最適解の欠如

モヤモヤの正体は、部分最適では解決できない「組織全体の戦略と設計の欠如」にあります。以下の3つが曖昧なままでは、各部門は自分たちの論理と都合で動くしかなくなり、結果的に噛み合いません。



ターゲティングと戦略

どの顧客・市場を優先するのか



アプローチ方法

どのようなアプローチで顧客に価値を届けるのか

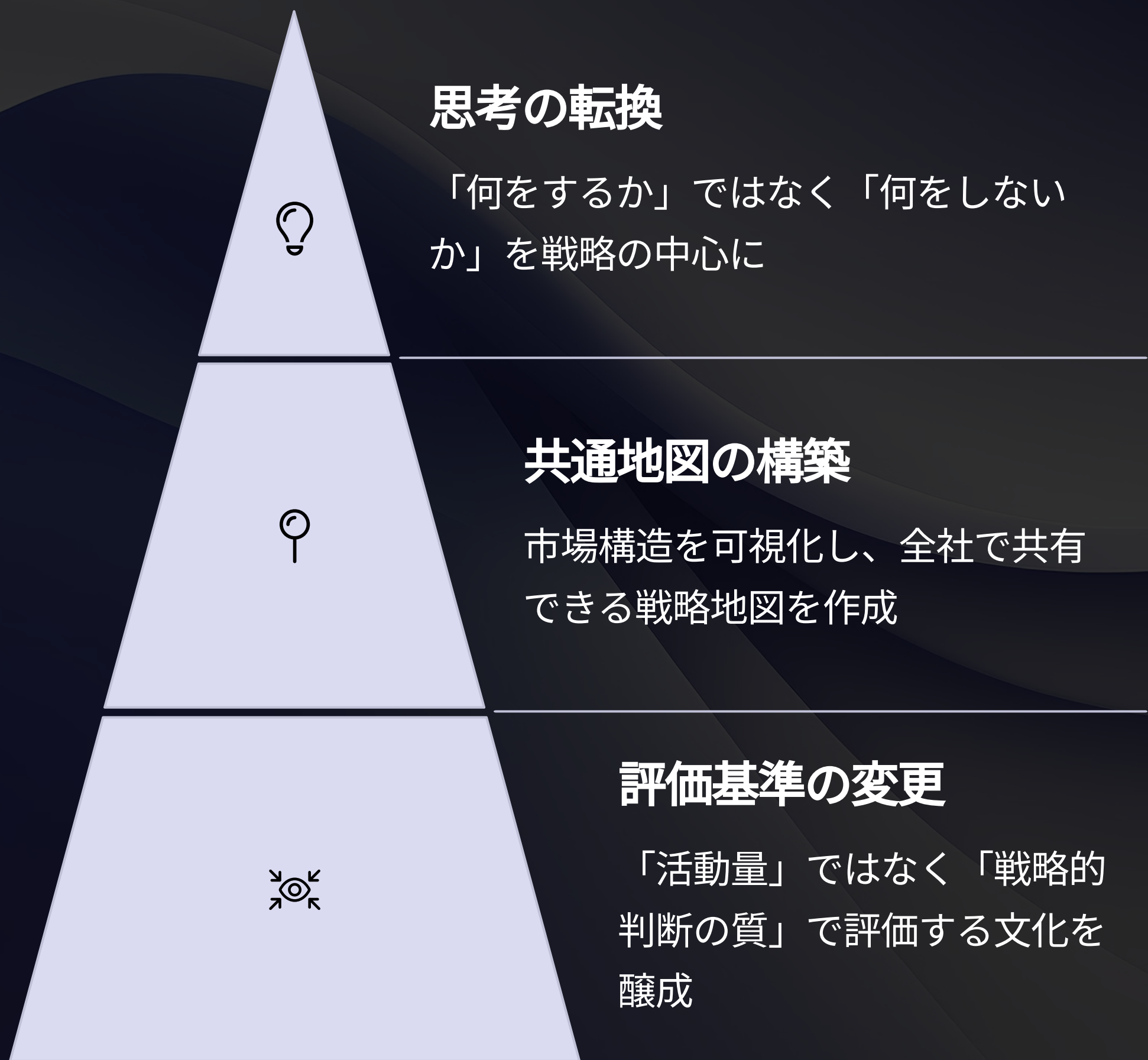


組織設計とオペレーション

各部門がどの役割を担い、どう連携するのか

部分最適の寄せ集めでは売上インパクトは生まれない時代です。モヤモヤを現場任せにせず、組織として明確な戦略と連携体制を築くことが重要です。

モヤモヤ解消への3つの変革



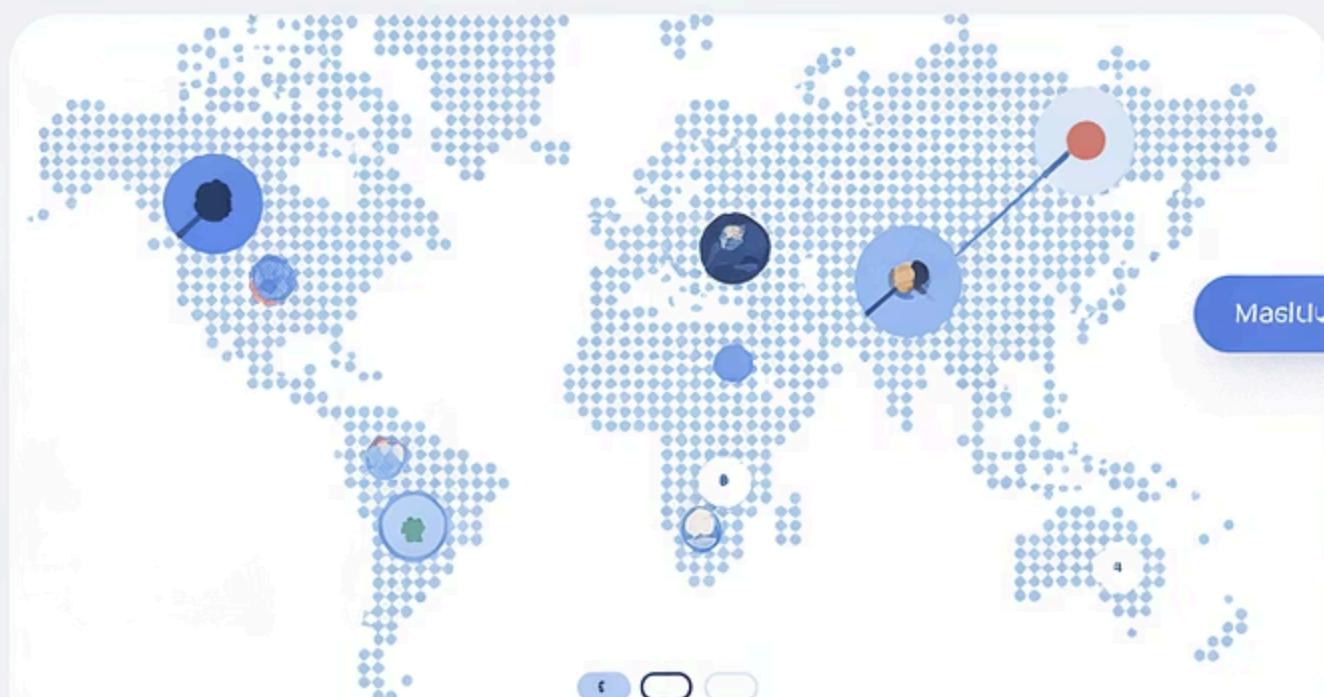
これらの変革により、製薬企業は「モヤモヤの正体」と向き合い、より効果的かつ効率的なビジネス展開が可能になります。制度変更という外部環境の変化にも柔軟に対応できる組織へと進化することができます。



戦略の共通地図がない組織の限界

組織に蔓延するモヤモヤの正体は、「戦略の共通地図」の欠如にあります。制度依存型ビジネスという特殊な環境の中で、各部門が異なる地図を持ち、異なるロジックで動いているために生じる不安と焦燥感が、モヤモヤの本質なのです。

この状態では、どれだけ個々の部門が努力しても、組織全体としての方向性が定まらず、リソースが分散し、成果に結びつかないという悪循環に陥ります。



DXS Stratify®：戦略の共通地図を実現

DXS Stratify®は単なるツールではなく、戦略の共通地図を数理的に可視化し、組織全体の行動基準を統一するためのプラットフォームです。

市場構造の可視化

市場規模、自社シェア、競合状況を冷静に静的分析し、戦うべき場所・守るべき資源を明確に定義します。

共通の戦略ロジック

個人や部門ごとの感覚に依存しない、共通の戦略ロジックを全社で共有できます。

戦略的選択

「何をするか」ではなく「何をしないか」を戦略レベルで選択できるようにします。

DXS Stratify®がもたらす組織変革



リソースの最適配分

施策疲れや意味のない行動を排除し、限られたリソースを勝てる領域に集中できるようになります。



環境変化への適応力

制度変更などの外部ショックが起きても、柔軟かつ迅速に戦略修正できる基盤を構築します。



組織の一体感

各部門が同じ地図で戦略を共有することで、部門間の連携が強化され、組織全体の力を最大化します。

DXS Stratify®は、単なる「効率化」でも「営業支援ツール」でもありません。企業戦略そのものを科学し、組織全体に共有する、次世代の戦略プラットフォームです。



モヤモヤを解消し、組織力を最大化しよう

製薬企業のモヤモヤの正体は、組織全体の戦略と設計の欠如にあります。部分最適では解決できないこの問題に対して、DXS Stratify®は戦略の共通地図を提供し、組織全体の行動基準を統一します。

あなたの組織のモヤモヤも、個人の努力や一時的な施策では解決できません。根本的な戦略の共有と組織設計の見直しが必要です。

このポストが役立ったと思ったら、ぜひシェアしてください。あなたの組織のモヤモヤ解消のヒントになるかもしれません。組織変革に悩む同僚や上司にもタグ付けしてみましょう。